

授業科目名 <英訳>		地球テクトニクス実習 II Experiment on Geotectonics II				担当者所属・ 職名・氏名		理学研究科 教授 理学研究科 助教 理学研究科 助教		田上 高広 堤 昭人 渡邊 裕美子	
配当 学年	4回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	火4,5	授業 形態	実習	使用 言語	日本語
科目番号		4537									
[授業の概要・目的]											
岩石試料の加工方法，歪・変位・荷重の計測手法，岩石の破壊実験法に関する実習を行って，代表的な変形試験機の構成と岩石変形実験法を理解することを目指す。また，フィッシュトラック法，カリウム-アルゴン法，ウラン放射非平衡年代法および関連する同位体分析法について理解することを目指す。											
[到達目標]											
代表的な岩石変形試験機の構成と岩石変形実験法の基礎を理解・習得する。また，フィッシュトラック法，カリウム-アルゴン法，ウラン放射非平衡年代法および関連する同位体分析法について理解する。											
[授業計画と内容]											
岩石の変形実験法と岩石・地層などの年代測定法について実習する。本年度は次の4つのトピックについて，履修する学生の人数や過去の講義・実習の履修状況などに応じて適宜実習を行う。それぞれ3～4回ずつ実習をおこなう予定である。 （1）岩石変形実験法（一軸破壊試験）（堤） （2）岩石変形実験データの解析法（堤） （3）放射年代学（田上／渡邊） （4）同位体分析法（田上／渡邊）											
[履修要件]											
地球テクトニクス，地球テクトニクス，地球テクトニクス実習 と合わせて履修することが望ましい。											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
平常点評価（60点），レポート（40点）により評価する。 平常点評価には，出席状況，実習への積極的な参加の様子などの評価を含む。レポートについては到達目標の達成度に基づき評価する。											
[教科書]											
使用しない											
[参考書等]											
（参考書） 必要に応じて参考資料を授業中に配布する。											
[授業外学習（予習・復習）等]											
授業スケジュールの進行状況に応じ，レポート課題，参考文献など学習すべき内容を指示する。 （その他（オフィスアワー等）） 授業終了後に質問を受け付ける。保険に加入していること。 オフィスアワー実施の有無は，KULASISで確認してください。											